

ENTERTAINMENT



2016年
ドラマ化!

『鴨川食堂』
柏井 壽／著
小学館(小学館文庫)
2015年

京都・東本願寺のそばにある、看板のない食堂。

元刑事の鴨川流と娘のこいしは今日も客の依頼を受けていた。

店に辿り着く手掛かりは、料理雑誌に掲載される一行の広告のみ。縁あって辿り着いた客は、もう一度食べてみたいものに出会えるという。昔、嫁が作ってくれた鍋焼きうどんをもう一度食べたいという男性、夫の揚げていたとんかつを再現したいという女性など、懐かしい味を求めて人々が今日も鴨川食堂にやってくる。

再現された料理を食べることで過去から解放され、前を向ける、優しい作品です。

「ユースフルエイジ (Youthful Age)」は YA世代に送る、本・漫画・映画・音楽などのおすすめ情報を掲載した渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。

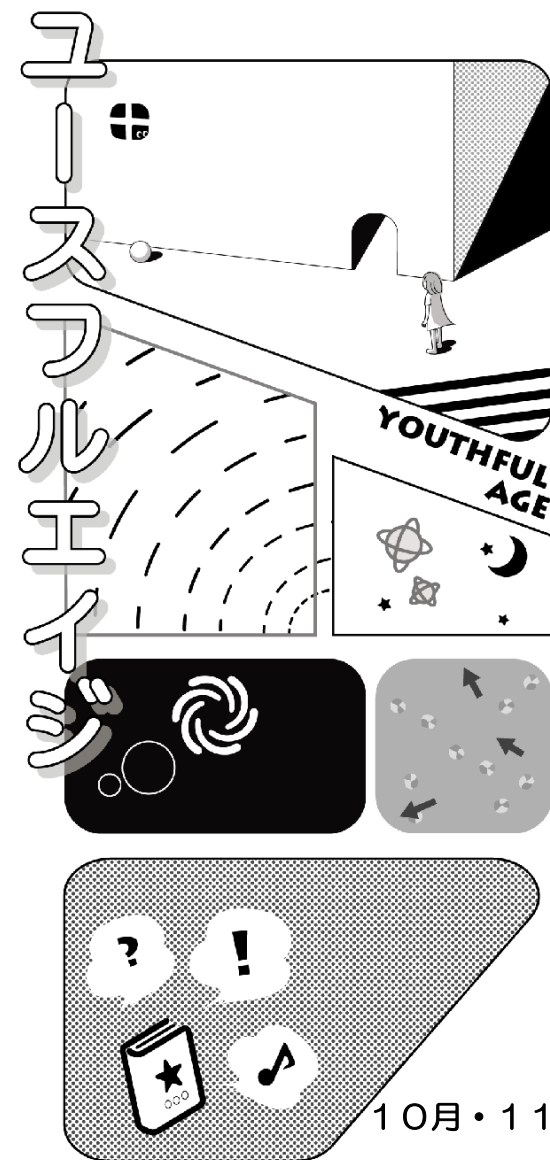
YA(ワイエー)とは…
Young Adult(ヤングアダルト)の略で、おおむね12歳から18歳までの人たちのことをさします。

ユースフルエイジ
2023年10月・11月号【No. 16】

発行／編集 渋谷区立図書館
株式会社図書館流通センター

発行日 2023年10月

渋谷区立中央図書館
電話 3403-2591
住所 渋谷区神宮前1-4-1



10月・11月号
【No. 16】

SHIBUYA CITY LIBRARIES

Recommended books

Pick Up!

食べざかりの君たちへ



『異国のおやつ』
岸田 麻矢／著
エクスナレッジ 2020年

幼いころ、外国の物語に登場する未知のおやつにわくわくした人もいるのではないのでしょうか。この本は、そんな異国のおやつへの思いを存分に満たしてくれます。渋谷区内のお店も紹介されているので、旅行気分を訪れてみていいかもしれません。



『ごはんぐるり』
西 加奈子／著
文藝春秋(文春文庫) 2016年

初めて作った、まかないの「肉じゃが」。幼少期にカイロで食べた「卵かけごはん」。人気小説家が綴る、おしゃれさとは程遠い「ごはん」…。読めば不思議と肩の力が抜けていく、おいしさ満点のエッセイです。



『食品ロスはなぜ減らないの?』
小林 富雄／著
岩波書店 2022年

「食品ロス」という言葉を聞いたことがありますか？この本では、「食品ロスって何?」「なぜ食品ロスが問題なの?」「食品ロスを減らすには?」といった疑問について、わかりやすく解説し、考える道筋を示してくれます。わたしたちの食の未来について、学んでみませんか。



『パンイチRECIPE』
もちこ／著
ワニブックス 2021年

切って混ぜてのせるだけ。食パン一枚あれば無限大に楽しめるレシピ集! 愛くるしいキャラクターとともに簡単アレンジから少し凝った組み合わせまで、もりだくさんです。初めて料理に挑戦するときや勉強の息抜きにおすすめの一冊です。

New!

『工場見学社会科見学』
昭文社
2023年
首都圏の工場見学・社会科見学スポットを、見学の流れや注目ポイント、試食や試飲、記念品やおみやげの有無等とともに紹介。PC・スマホから参加できるオンラインバーチャル見学もガイド。
※データ 2023年4〜5月現在



失敗せずにお菓子作りを楽しもう! パウンドケーキ、プリンといった8つの基本のお菓子を取り上げ、お菓子作りにおける疑問に答えながら、作り方をプロセス写真で解説。アレンジレシピも紹介。

『Macaroniが教える失敗しないお菓子作りの基本』
Macaroni／著 えも／著
2023年



COLUMN

印象に残る食べもの

みなさんは、くさい食べものについて何を思い浮かべますか? シュールレストレミングというスウェーデンで作られるニシンの発酵缶詰は、世界一くさい食べものと言われていました。その臭気はなんと納豆の約三十倍! あまりにくさいため、スウェーデンでも好んで食す人は少ないようです。しかし、シュールレストレミングは、発酵していることで栄養が豊富になり、消化吸収もよく、非常に優れた保存食だそう。昆虫食や培養肉を持ち出すまでもなく、世界にはまだまだ想像を超えた食べものがありそうです。



『世界一くさい食べもの』
小泉 武夫／著
筑摩書房 2021年